

# HAND in HAND

はんど・いん・はんど

〔女性の人権と尊厳はモノより軽い?〕

■沖縄の少女強かん事件から、そろそろ1年が経とうとしています。ちょうど昨年、北京で第4回世界女性会議が開かれていて、世界中の女性たち、少女たちへの暴力を阻止するための方策が議論されていたさ中に起こったひどい事件でした。

■沖縄と米軍基地の問題、日米地位協定の問題等を抜きにして、一人の少女が3人の成人男子から強かんされたということについて考えてみたいと思うのですが、まず、私がなぜ暴行事件と書かず、強かんと書くか。これは、加害者の側の責任があいまいにされ、ひどいことをしたという認識が希薄化されないためには、強かん、とあえて事実を書いたほうがいいと思うからです(姦は女をおとしめる字ですから、ひらがなにしたいと思います)。

■我が国は強かんは人間の尊厳を踏みにじる、殺人と同程度のひどい罪だと認識している人が少ないのではないかと思います。強かんにあった被害者が、なぜいやなら逃げなかったと責められ、和かんだと断じられてしまったり、生命の危険を犯すほどの抵抗をしない限り、強かんされたと認められなかったり、性体験のある女性の場合は、そのくらいいいではないかと言われ、根掘り葉掘り、過去の男性とのつきあいを聞かれたり、訴えることでさらに傷つくような状況が残念ながらあります。

■やっと強かん罪が成立しても、何と強盗罪よりも軽いのです。女性の尊厳と人権は、物よりも軽い位置におかれているのです。だから、見るに耐えない女性蔑視の写真やビデオやチラシが氾濫するのでしょうか。

■強かんを告発してもプライバシーが侵されず、カウンセリングと人々の支援で傷がいやされるシステムと、強かんのような形でしか女性とかかわれない男性を減らしていく教育が、早急に必要ではないでしょうか。(円より子)

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚—それは旅の半ばの一つの出来事。新たな旅立ちをした女たちはいま手を取りあい、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。ハンド・イン・ハンドは生きやすい社会をめざし、支えあう女たちの流木である。

170

第170号 600円 禁無断転載

【発行日】1996年9月1日

【発行所】現代家族問題研究所

【連絡先】〒150 東京都渋谷区  
神宮前6-34-3-201

TEL & FAX 03-5512-2738

【発行・編集人】円 より子

【スタッフ】向井通江 星野美子

【印刷】(株)日出島

# ハンド・イン・ハンドの会

## ワークショップ in 国立婦人教育会館

ー女性学・ジェンダー研究フォーラム(96年8月4日)よりー

8月2日(金)～4日(日)に開催された国立婦人教育会館主催の「平成8年度女性学・ジェンダー研究フォーラム」で、ハンドの会もワークショップを行いました。

「女性のエンパワーメントと女性学・ジェンダー研究」北京から2000年へ」をテーマに、昨年北京会議(第4回世界女性会議)で採択された行動綱領の具体化に向け、女性学やジェンダー研究と女性のエンパワーメントに関わる研究者、教育者、NGO活動者等が一同に集い、研究、教育、実践活動の課題や成果を出し合い、西暦2000年に向けた女性のエンパワーメントの推進を図るため情報交換を行うための大会です。

私たちのワークショップのテーマは「離別母子家庭の社会における地位と法制度の整備」。各地、各テーマの活動、状況を報告し合い、離婚後の女性の置かれている状況は、一般的に女性の置かれている

状況をより顕著に表しているところ、参加者に問題提起を行い、社会的、経済的、政治的に状況を変えていく方法の模索、ネットワーク作りを行うのが目的です。

ワークショップに先立って、各地の世話係、各テーマの責任者にレポートを依頼し、14地域、3テーマのレポートが集まりました。参加する世話係は、東京

部の さん、香川の 大阪北

さんと円より子。4日の当日は朝8時半から、円より子も一緒に会場セッティングをしたり、会館入り口でピラを巻き参加を呼び掛け、たくさんの方が参加して下さい、たかさんの方が参加して下さい、かとうか期待しながら皆で準備。結果は、一般参加者12人、ハンド

会員4名の計16名の参加でした。司会の さんが、まずハンドの会の発足から現在までの経過を説明した後、世話係から活動状況の報告、問題提起がありました。

大阪の活動は82年7月7日に円が大阪で呼び掛け集まりを持ったのが始まり。その後離婚講座を始め、ニーズに合わせて、法律、住居、仕事、社会福祉、母子福祉についての講座を行ってきた。10年活動してきて、世話係の思いのつきの講座でいいのか。また大阪では年収300万を越す会員は少なく、住居もなく子どもを育て、少ない年金で老後を暮らさざるを得ないことについて問題提起がありました。

大阪北部は世話係自身の生活も苦しく、会合を持つ時間的余裕がない。活動は主に他の会員の話を電話で聞き、アドバイスをすることに終始していて孤軍奮闘。

香川は、保守的な地域なので、ブライバシーの守れる他県の世話係になら話せると、他の世話係に連絡を取る会員が多く、開店休業の状態。離婚に関する情報が欲しくても、本屋で円さんの本すら手に取れない地域性が。また、公共の施設は「施しの思想」があり、母子家庭のくせに、助けてやっている

式の対応で、ボランティアなネットワークでその人達をサポートできればと問題提起がありました。最後に さんが東京の活動を



報告。月1回の会合と年2回の研修合宿、また子どものプログラムとしてジュニア・ハンドの活動を紹介。テーマ別活動として、養育費の国の立て替え制度実現の勉強会、署名活動を行っている「養育費の国の立て替え制度を実現する会」、養育費を支払う父親たちのパソコン通信によるネットワーク「よういくひふおーらむ」を紹介。

さんから、各地の活動は、①電話や会合で問題の渦中にいる人が愚痴を言い合ったり、先輩の話を聞く、カウンセリング的活動、②合宿や勉強会を開いたり、ボランティア活動を行ったり、離婚後のネットワークができてくるものの2つの形態に分かれていると報告があった。また世話係の抱える問



題として、生活を支え、子どもを養育してその上でボランティア活動をしている。体力的、経済的、時間的にも限られた中で行い、続けていくのが難しい。世話係がもう少し楽に続けていける方法を考えたいと問題提起がありました。

それを受けて円より子が日本の離婚後の状況、離別母子家庭の状況について話し、離別母子の抱える問題は全ての女性の問題が集約して出てきていると問題提起。

後半に入り、参加者の自己紹介と意見を一人ずつ話してもらいました。参加者はハンド会員や離婚経験者、行政や団体で離婚や児童福祉に携わっている人達。

介護人派遣制度の申込に行ったが、登録した介護人がいない、い

ても派遣ではなく仕事前に子どもを預けに行き、夕方5時に引き取りに行かなくてはならないといった、公共の福祉サービスが機能していないという問題が出された。

「しんぐるまざあずかふーらむ」の赤石さんからは、「しんこきゅうタイム」のワークショップに前半参加したが、参加者は4人だけ。シングルマザーの問題は女性全体の問題だという認識がまだまだ低いという発言が。

「しんこきゅうタイム」の加藤さんからは、離婚相談に関わって、結婚がこんなに女性の問題解決能力を奪うのかと感じ、気持ちを整理していくときの精神的サポートが必要だという発言がありました。

「しんこきゅうタイム」とは、仙台で女性のための離婚ホットラインを運営する支援グループで、前日自由交流会を持ったのですが、90年から年2回、各2日ずつの電話と面談による相談を行い、他に年1回程度離婚についてのセミナー、月例会を行っているそうです。

フォーラムの運営委員の方より、役割分業システムが変わらなければ離別母子家庭の問題は変わらない。民法改正の時期でもあり、制

度改革の意識を持ってほしい。以前円より子らの離婚制度研究会が法制審に出した「離婚制度改革への提言」についてもきめ細かな提言が必要と発言を頂きました。

まとめとして円が、離別母子家庭の問題は、全ての女性の問題だという認識が低い。大勢の人を巻き込み制度改革して行く戦略を考えないといけないこと。母子家庭への福祉サービスが実際に機能しているかどうか、プロジェクトを作って一つずつチェックすること。も早急に行う必要があることを話し、ワークショップを終えました。

まだまだ皆さん話し足りないといった状況だったのですが、時間切れ。参加者は少なかつたものの収穫の多いワークショップになったと思います。参加された世話係の皆様お疲れ様でした。

#### ワークショップに参加して

●世話係になって1年余り。ほとんど開店休業の状態であることとその理由を推測して報告しました。私の半年後に四国の世話係になった愛媛の……さんは香川5名、愛媛6名が連絡を取り、ノート回覧や香川での会合を行っています。

「地元では一切知られたくないので、少し離れた所だと安心」と愛媛の方がおっしゃっていたように、近くの人や名前を知っている人には連絡しにくい、という地方ならではの問題もあるかも知れません（仕事や社会活動の関係で、地元で私の名前は時々広報に出ます）。

今回のワークショップへの参加人数を見て、「離婚問題」は女性学では当事者以外にはマイナーな問題ととらえがちなと分かりました。弱い立場に立った時、この国の数々の問題が一気に覆い被さってきます。今後もワークショップを継続して、これが普遍的な問題だと気づいてもらう必要があります。

円さんやスタッフ、世話係の方たちと直接会って話し合ってみて、これからも自分なりに活動のサポートを続けたいと思いました。

#### （香川世話係・）

●今回皆さんにお会いできたことが何よりの収穫でした。これまで大阪の集会にさえ、顔を出す時間がなく、特に私が土地感のない大阪を選んで住んだのは松尾弁護士にお会いしたためでした。

しかし、毎日のことに追われ、松尾さんの突然の死去で、それしか

なわめままになりました。保育園のお迎えと日々のスケジュールをこなすことで精一杯、ましてや友達と電話で話す時間さえ惜しまれる日々、やっと陽が差したような下の子の小学校入学。

ところが、ほっとした途端にレギュラーの仕事(フリーライター)をことごとく失い、正に失業同然の事態に。わずかな蓄えも底を突き、人間不信や自信喪失、そんな時の今回のお誘いでした。

金はなくとも、子どもは夏休みで預けることも簡単、時間はたっぷり、全て用意されていたかのよう。そして、同じ思いや行動力に遇進なさっている方々の存在に力を得て、身体が3つあればと思うほどでした。本当に今回お誘いを頂き、ありがとうございます。

(大阪北部世話係)

●ハンドの方が講師となったセミナーには以前参加したことがあり、その時は離婚を勧めているような印象を受けました。今回参加して、会の主な活動領域が離婚後の母子(父子)家庭であることが分かり、納得しました。しかし、最近の参加者の何割かが離婚をしたい婚姻中の女性ということを知り、離婚

を防止するサポートの必要性もあるのではないかと考えています。

発表では香川県の地域の閉鎖性の話が印象的でした。家の意識が強い土地柄では、家という財産区の管理人に徹することが望ましい生き方とされ、それからはみ出た人は地域の平和を破壊する者として、無言の弾圧を受ける。都会に住み、個人生活に不自由しない私から見ると、まるで別世界のような話です。

また私を含めての話ですが、離婚の子どもへの影響が関心を引きました。自分の経験からするとかなり後年になってからも、本人が充分認識していないと、その影響から抜け出せないように思えます。やはり子どもにとってみれば離婚はいい迷惑なのかも知れません。

離婚した人(私も含む)に聞きたいのが、「なぜ結婚したのか?」ということ。離婚原因はもしかしたら婚姻原因に源があるのではないかと思うからです。今後考えていきたいと思っています。楽しく有意義なワークショップをありがとうございました。

(参加者(男性)・H・T)

Q 私は昨年離婚し、子ども2人(4歳、10歳)の親権者になりました。夫は浪費家で私の実家の父から相続した土地まで売りたがりでした。

私は実家に戻り、母と子ども達と一緒に暮らしていますが、病弱で、私にもしものことがあった場合心配です。

もし私が死んだら、夫が子どもの親権者になるのでしょうか。もしそうなら、私は母に私の全財産を委ねる方法が取れるでしょうか。



A 未成年の子の親権は、父母の婚姻中は共同親権ですが、父母が離婚すると父母の一方の単独親権になります。

ところが一旦単独親権者となった人が死にすると、他方の生存中の親が親権者になるのか、或いは後見人になるのか、親権者変更をするのか、諸説対立しています。

裁判例も同様ですが、一般的には親権者の死亡により、未成年者の為の後見人が選任され(例えばお子さんと同居されている祖母が後見人になる等)、申立により生存親への親権者変更を認める例が多いよう

です。後見人は最後に親権を行うもの(つまりあなた)が遺言で指定することができ、自分の死後母を子2人の後見人にする旨、遺言を書かれるといいでしょう。

その場合でも夫から親権者変更申立があり得ますが、その変更を認めるか否かの判断基準としては、子の福祉が優先ですので、子の財産を食い物にするような父親であれば、親権者変更が許されないことは充分あり得ますので、夫の浪費、とりわけ人の物にまで手を出したという事実に関する資料は残して置かれれば、審判のときの判断材料になるでしょう。

さらに、父への親権者変更がなされた後でも、父による子の財産管理が失当で、子の財産を危うくすると管理権の喪失を家裁に求めることができます。

何よりも大切なことは、今死んだ後のことで心を痛めるより、死ななために、生きるためにエネルギーを費やすべきではないかということです。

(弁護士・竹川幸子)

06-1393-11331



第105回 神奈川 Tさん

〔家族構成〕

私 34歳（外資系会社派遣）

長女 7歳（小学1年生）

長男 4歳（保育園）

〔住居〕 賃貸住宅（2DK）

★

平成4年1月下旬妊娠8か月の身重で別居しました。「裏切り者」となる夫の真意がつかめず「？」の別居です。3月28日に長男を出産しても会いにきてくれず、出産費用も払ってくれず、あれから4年以上経った今でも子ども達に1度も会ってくれません。息子は父親の顔を知りません。

その1か月後、勝手に引越してしまいました。そして何と自分の健康保険から子ども2人を抜いてしまい、私たちは実費で医者にかからなければならなくなりました。何も聞いていなかったで、病院の窓口で実費を請求されました。若い女性の声で「保険証から子ども2人を抜いて下さい。妻の方に

移したから」と連絡がありましたとのこと。健保組合には年配の男性数人と中年の女性だけだと聞いていたので調べたところ、夫の女性（同じ会社の21歳）が手続きの申請をしていたのです。私は診療料を信販会社で立てました。

ある日夫の借金取りもこぞって実家に来ました。その方面の友達に調べてもらったところ、全てその女性の父親がスポンサーとなり、不動産屋にはSという女性名義でマンションを借り、住民票は借金取りの目をくらますため、私の実家に移す等詐欺に近い行為をし、その裏には彼女の雇った弁護士がいました。

盗聴されたり、会社に脅迫電話や人事部長に変な電話をされ、居づらくなり、平成5年12月に退職しました。今思えば陰口を言われても頑張れば良かったと、後悔しています。

夫にはいつも弁護士が付いていて、夫と1度も話し合えず、子どもの写真すら見てもらえませんでした。そして平成5年7月、圧力に負け、離婚届に判を押しました。母乳は産後1週間で出なくなり、子ども達も1年に4回も入院し、嫌

な男性達からは「淋しいだろう」とセクハラをされ、ひどく傷つきました。ついつい逃げ場を求め過食症気味になってしまいました。

1人2万円の養育費も払ってもらえず、役所からも「大学出ているんだからいくらでもいい仕事はあるだろう」と冷たく援助を断られました。カップラーメンしか食べられず、私自身2か月入院してしまう程、生活が苦しかった時期もありました。そんな時でも保育料、税金等はおかるんです。（当時、ムカデや白蟻、大蟻が這うオンボロアパートに住んでいました）

退職後、外資系コンピューター会社で英文経理をし、給料は今の倍でしたが、帰りはいつも午前様で、その上夫の借金を毎月18万円も返済していました。今思えば本当に悔しくて、悲しくて、苦しい道程でした。

今では仕事にも恵まれ、前職の損害保険の知識や語学が活かして足しています。一步一步前進しているように思います。夫や相手の女性からはお金を取れませんが、自らの力で開拓し、子どもと共に充実した人生を送りたいと思います。幸せは始まったばかりです。

最後に私の心の支えの言葉を。「Where there is a will, there is a way.（意志ある所に道はある）」

### 家計簿内訳 (1996年7月分)

#### 〔収 入〕

給与	220,000円
児童扶養手当	41,000円
計	261,000円

#### 〔支 出〕

家賃	87,000円
光熱費	15,000円
食費	60,000円
教育費	17,000円
スイミング	12,000円
保育料	26,000円
交通費	11,000円
給食費等	5,000円
信販返済	10,000円
市転宅費用返済	7,000円
国民健康保険料	11,000円
計	261,000円





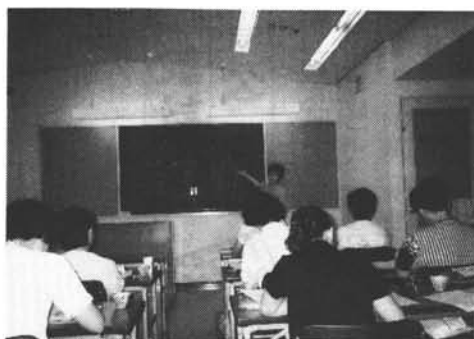
## 夏合宿報告

8月16日(金)～17日(土) in 国立婦人教育会館

8月16日(金)、17日(土)に、恒例の夏合宿が国立婦人教育会館で行われました。今回は大人30名、幼児22名が参加。

1日目はまず自己紹介から始まり、現在の状況を話したり、子どもと別れた父親との関係等について話し合いました。その後グループ別に討論。子育て真最中組は子育てや子どもとの関係の取り方について、シニア組は仕事や老後の不安、健康の保ち方等について話し合われました。

夜の懇親会では、子ども達が寝ついた後、普段は言えない思いを思いう存分話し始め、途中から翌日の講師三沢先生もお見えになり、警



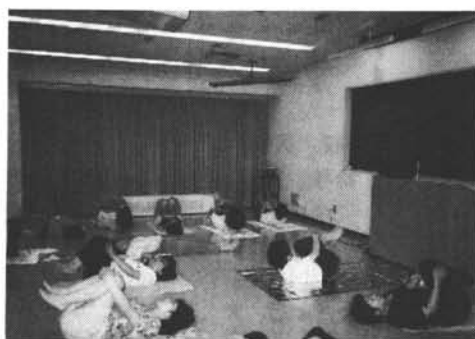
▲「エゴグラム」の研修会

備の方が回って来られるまで、時間を忘れておしゃべりしました。

2日目の午前中は三沢直子先生(心理カウンセラー)による「エゴグラム」。初めに、人間は「欲求+現実+良心」によって形成されていき、その性格形成に育ってきた環境はかなり影響していると、子育て、反抗期の子どもの関係についてお話がありました。

次にエゴグラムの質問紙が配られ、60の項目を採点し、各自の自我構造を確認しました。エゴグラムは以前も何度か合宿で行ったことがあり、ご紹介しましたが、性格の動きを①CP(批判的な親)②NP(受容的な親)③A(客観的な大人)④FC(自由な子ども)⑤AC(従順な子ども)の5つの自我状態で分類し、その採点をグラフ化し、どれが優位か下位かによって性格傾向を診断します。

以前行った時は、グラフが逆N型を示すCP優位タイプ(責任感が強く、弱者の面倒は良くみるが権威的で他者否定的)の母親が多く、子どもに厳しく接しているた



▲リラクゼーション(ヨガ)

め萎縮している子どもが多かった。子どもに描画テストを行ってみると、画面一杯に絵が描けない、人間を記号化して描くといった、自分を出せない、肯定できない子どもが多いという結果が出ました。

母親一人ずつを指導し、半年後に再度やったら子どもの絵が変わった。母親が変われば子どもも変わります。性格は、本人がその気になれば変えられる。変えたいかどうかが鍵。子どももいろいろな困難を乗り越えて成長します。自分を肯定し、他人も肯定できる、「I'm O.K. You are O.K.」と言えるようになることが本当の大人になること。自分の偏りが子どもにそのまま伝わらないように、自分一人ではなく、できるだけ地域や

自然環境の中で育てていく。いろいろな問題を乗り越えたくましく生きていく母親をモデルに、子どももたくましくなっていくので頑張りました。とお話を頂きました。

午後はハンド会員の権さんにインストラクターをお願いし、ヨガを皆で。普段、日常の忙しさに追われ運動不足になっている体を解きほぐし、リラクセスできました。

最後に、合宿のまとめを。「普段なかなか自分のことを見つめられる余裕がないが、いろいろと気づききっかけになった」「パワーの源」「分かち合える場となった」、中には「時間が足りず、もの足りなさを感じる」人も。

それぞれの気づきを、生活に活かしてもらえたらと思います。

## ★東京ハンドバザーのお知らせ

11月に日本社会事業大学で行われる岩手県内村「ふるさと交流会」で恒例のバザーを開きます。収益金はジュニア・ハンドの活動資金に。不用品等を10月末までに左記へお送り下さい。詳細は次号で。協力下さい。

〒164 中野区中野3-35-1  
村井方「ハンド・イン・ハンド」

## ジュニア・ハンド 沢内村合宿報告

今年で3回目になるジュニア・ハンドの沢内村合宿が終わりました。8月1日～6日の5泊6日を清吉稲荷と命名された古い農家で過ごし、川で泳いだり、芋を掘ったり、温泉巡り（近所は温泉だらけで、いろいろな温泉に入りました）をしたりと、のんびり過ごしました。

子ども9人、ボランティア7人に、村で私たちのお世話をしてくれる方たちを含め、いつも夕食は賑やかで、正味4日のうちに米16キロを食べ尽くしてしまいました。子ども6人が初参加、ボランティア

アも初めての参加でしたが、それなりに楽しんだようです。2回目、3回目の参加者は、「昨年より成長した」、「顔色も良くなった」などと村の人に言われ、まるで本当の親戚のいるところに遊びにきているような感じでした。

ジュニア・ハンドの会員とボランティアの感想を一部載せます。合宿の雰囲気を感じてください。

●JRほっとゆだ駅に着いたとき、もう僕の体力はゼロに近いところまで来ていた。「青春18キップ」での鈍行列車の乗換えではかなり体力的に厳しいものがあつた。

ところが、2日目以降はエンジン全開、絶好調。楽しいこと、面白いことが続く、続く。特に面白かったのは肝試し。これが意外と興奮したりして楽しかった。それとトランプ。他にも川で泳いだり、畑の草を抜いたり、また及川光博のCDを皆できいてはまってしま

った。去年と違ったのは沢内バーデンに1泊したことかな。温泉に入ったり、カラオケしたり、とても楽しかったな。帰りの新幹線で郡山で降りるときに、こんなこと考えた「時間よ、止まれ！」。

●沢内村はとても楽しかったです。ボスに料理を教えてもらって作ってみました。友達もいっぱいできました。また行きたいです。楽しかったのは肝試しと花火です。

●初めて青春18切符で旅に出て、岩手県がどんなに遠いかよく分かりました。仙台に着いた時、「あ、家に帰りたい」と思ってしまったが、ほっとゆだ駅に着いて入ったお風呂は最高でした。合宿で1番思いに残ったのは、皆で川に入って遊んだことです。水は冷たかったけれど、すごく楽しかった。そしてボスや村の人が作ってくれたお昼を食べ、水着のままで清吉稲荷に帰りました。その他にも砂風呂に入ったこと、肝試し、トナカイを見たこと、みんなでカエルをつかまえたり、初めてホテルを見たり、きれいな星空を見たこと、全てが良い思い出です。最初が不安だったけれど、みんなと楽しく過ごせて良かったです。



### ボスの手紙

ジュニア・ハンドの会員のみなさん、お元気ですか。

ボスは沢内村の合宿から帰ってから、ボーッとして昼寝ばかりしています。「さすがに疲れたな」という気持ちと、清吉稲荷の風景（開け放した家から見える田んぼや畑とその向こうの山々、それと「風」が忘れられず、寝て起きると思わず皆を探してしまうのです。東京の生活に慣れるのに、少しリハビリが必要なようです。

みんなも疲れが出ていませんか。それとも次の計画で張り切っているのでしょうか。合間で結構ですから、夏合宿の感想を書いてボスのところまで送ってください。内容は自由です。返事待っています。

ジュニア・ハンド夏合宿で  
1番えらかったボス

村井 美紀

## 大阪ハンド夏合宿報告

### ●赤目の森の夏合宿

満天の星を仰ぎ、望遠鏡を眺めて、輝きに感激した天体観測。都会の暮らしでは忘れていた感動でした。

通勤圏の町とは思えない自然の中で、自家有機農法農園でとれた米や野菜と産みだした玉子等でお世話下さった、ペンションエコリゾート赤目の森。ここは里山の自然保護のグループが運営する宿泊施設ですが、自然と無縁の都会人と自然を結ぶ活動もしています。

支配人をはじめスタッフの皆さんも、車での移動からキャンプファイアーの準備、子ども達への釣り指導まで、いろいろな役割を引き受けて下さいました。おまけに深夜のミーティングでは、途中で目覚めて泣き出した幼児を抱えて母親探しをして下さったり、里山散策の案内をして下さったり、本当にお世話になりました。延べ総勢63名、うち子ども34名の大部隊での合宿で、どうなることか案じていましたが、この人達の強力なサポートで無事終了しました。

2日目には講師を招き「リラクゼーション」セミナーを開いたり、バザーを開いたり、盛沢山のプログラムで3日間で親子共々、十分リフレッシュできたようです。

期間中から来年もここに集まるうという意見が飛び出して、場所の定量化が検討課題となりました。各役割を担当して下さいました方、協力下さった皆さん、本当にありがとうございました。

(大阪世話係・)

### ●夏合宿に参加して

ハンドに入会して10年、初めて夏合宿に参加しました。離婚後かなり時間が経過し生活は安定したものの、精神的ストレスの蓄積で疲れ切った自分をリフレッシュしたいと思ったからです。勿論、見知らぬ人との間でうまくやれるかどうかとの不安もありました。

けれど第1日目から杞憂に過ぎないことが分かりました。皆さん非常に明るく、人に対する優しさ、思いやりの気持ちが深い。同じ立場だからだけでなく、1度人生に挫折し、心に深い傷を負った人間だからこそ分かる他人の痛みに対する理解力。普段、殺伐とした環境の中で生きている私にとって、こ

の出会いはとても新鮮で、心に安らぎを与えるものでした。

そして赤目の森も素晴らしい設定だったと思います。緑に囲まれ、のどかな田畑、虫の声、かわいらしいログハウス。子ども達のはのびと自然の中で遊び、大人達も山歩きを楽しみ、野菜畑や鶏小屋等、日頃バック詰め食品を見慣れているだけに、とても良い経験でした。忘れてしまっていた子どもの頃の純粋な気持ちを、取り戻せたような思いでした。

合宿全体を通じて、精神的にも身体的にもリラックスすることができたのではないのでしょうか。

合宿を企画された皆さんに頭が下がる思いです。次回からは少しでも協力しなければと思います。

(?歳・)

### ●合宿に参加して

きのう魚つりに行けなくてかなしかったよ。ログハウスでねておもしろかった。少しかたがこったけど、トンボといっしょにねたよ。さいしょの日のあさはながうまかった。また行きたいな。

(小1・)

### ●合宿に参加して

赤目の森に来て、普段体験でき

ないようなことができたと思う。山歩き、野外でのバーベキュー、天体観測。どれも都会ではできないこと。それに普段食べている冷凍食品とは違って、とれたての野菜、果物を食べることができました。スイカはスイカでも本当に今まで生きてきた中で一番甘く、おいしく感じられました。

夜は夜で、星が自分が住んでいる町より倍ぐらい見えました。きっと都会より空気がとってもきれいだからなんだと思います。

ここで知った自然の大切さを大人になっても忘れずに、それを教訓にして自然を壊さずに続けられたなと思います。

(高1・F・A)





ハンド・イン・ハンドは、みなさんがつくる雑誌です。

みなさんの日常考えていることや、生活の匂いが伝わってくるような、そんなハンド・イン・ハンドでありたいと思います。お便りをどうぞお寄せください。

■よきアドバイスをお願いします

M・S (7歳・東京)

突然の離婚の申し入れがあり、別居して1年余り経ちました。

夫の事業資金の連帯保証人と住宅ローンにしばられ、離婚したくてもできず、仕事もうまくいって

いない様子の相手の出方をじっと待っているしかないのかどうか、心が揺れ動いています。どうぞよき

アドバイスをお願いします。

■意志あるところに道あり！

(40歳・福島)

楽しみにしていた169号が届きました。春合宿でお会いした

さんたちの収入の多さに驚いたり、これくらいないとああいふ風

にはなれないのかと感心したり。

医療関係のメーカーに勤務していますが、男女の格差ははっきり

しています。年齢制限もあり、準社員です。円さんが会社を作って

人材を登録して……とおっしゃっていましたが、一人では大変だけ

ど複数ならできるよう思います。仕方なく低賃金で働かなければ

入るのにはやめましょう！「意志あるところに道あり」です。

■仕事を続けていて良かった

T・Y (33歳・群馬)

別居して3年。やっと「離婚。親権者は私」と判決が下りました。

夫婦共働きで、2人の時は仕事と家事の両立もでき、夫も優しく

幸せでした。結婚1年で子どもが産まれ、産休、育休から少しずつ

2人の関係がおかしくなりました。夫は家長制度、性別役割分業の

申し子で、家事を完璧にこなさな

い私を許さず、暴力を振るうようになりまし

た。仕事、家事、育児と精一杯努力しましたが、理解し

てくれず、暴力はエスカレート。2度の調停もうまくいかず、平成7

年2月に裁判を申し立てました。判決はほとんど私の主張が通り

ました。ただ慰謝料はなし、訴訟費用は折半。理由は「暴力があ

ったが原告に全く誘因や落ち度がない」と言い切れない。双方に責めがある」からだそうです。納

得できないのは「夫が十分だと思

うだけの家事をしなければ妻は暴力を振るわれても仕方がないのか、

夫が両親と同居したいと言ったら、仕事を辞めて夫についていかなければならないのか」ということ

です。夫と同じに収入があり、生活費も折半なのに、妻は家事をやっ

て当然、夫はちょっと手伝っただけで大いばり。納得できません。

均等法があっても育児、家事のバックアップがなければ働き続け

るのは大変です。保育園(0歳児保育、時間外保育)、児童館(学

童保育)等、施設、保育内容の充実を強く望みます。また今回調停、裁

判にあたって、男社会の壁を強く感じました。円さんが以前クオー

タ制について話されましたが、女性の立場が分かるのはやはり女性。

法の世界にも女性がどんどん進出してくれたらと思います。

私が親権を取るのに、私には仕事があり、収入があることも重視

されました。本当に仕事を続けていて良かったと思います。

■調停がとて不安です。

M・K (32歳・北海道)

調停に対して私も大いに不満があります。話し合いのできない相

手なので申し立てたのですが、調停委員も相手方の言い分のみ信用

していて、責められてばかりです。あの暴力に耐えた6年間は何だ

ったのか。子どものためにも頑張ろうと思っていますが……弁護士

を頼みたくても、パートの収入では食べていくのに精一杯です。

調停委員とは中立の立場であるべきでは？と思いますが、弱い者の力ではどうにもならないのでし

ょうか。とても不安です。

■少しずつでも前進できれば

K・Y (7歳・大阪)

結婚して4年が過ぎ、夫への不信感を抱きながら何もできないまま月日が流れています。

ハンドで知り合えた方との文通や、学生時代の友人が昨年離婚し、

アドバイスを受けたり、心のクリニックに通うことで、少しずつ無

気力状態で自信喪失していた私自身から脱出しつつあります。

先日、市の無料法律相談に行き、弁護士の横柄な態度に圧倒され、聞

きたいことが聞ききれず30分で終わってしまいました。

産後間もない私に「本当に俺の子か？」と言われ心が離れていき

ながらも、思い直した途端、2人

目を妊娠。夫は「できるとは思わなかった」と。それ以来夫を受け入れることができなくなりました。

それまでも嫌悪感の中で、「おつとめ」として我慢していました。夫はまるでトイレで用を足すかのよう私を求め、自分さえ良ければいいといった風でした。それも家庭を顧みることなく、生活費もままならない状況です。

近くにショートステイで子どもを預かってくれる所ができ、入会しようと思っています。離婚講座を受けたり、子ども達のためにも少し距離をおいてみるのもいいかと思って。離婚したいと思いが、わだかまりがあって踏み切れません。時間がかかるかもしれないけれど、少しずつでも前進できればと思う、今日この頃です。

# お便り・お電話下さい

■お友達になって下さい

(?歳・神奈川)

ハンドに入って1年。「裁判に詳しい方」と載せて頂いたところ、様々な方から心暖まるお手紙を頂き大変励まされました。

裁判ももうすぐ終わります。満足のいく回答は相手からありません。

んでしたが、条件はまずまずと考え、第2の人生をスタートさせたと思います。息子(2歳半)のことや生活面で不安は一杯ですが、心機一転で生活したいと思っています。

■切迫している方、ご連絡下さい

(?歳・東京)

調停離婚し、6月で3年目を迎えました。何度かのパートを経て、正社員になりました。社員を募集していることを会員の方に話したら、風の便りで連絡を頂き、一緒に仕事ができそうです。今現実には仕事が必要な方、ご連絡下さい。

また最近新築マンションに引越しました。母子家庭なのを隠さず申し込みましたが、すんなりと許可されました。一流企業に就職しているのが良かったのでしょうか。

昨年からの養育費が半分しか送られてきません。家裁に連絡しても、相手の言い分を報告されただけでちがありません。戦うだけの精神的、時間的余裕がないのでそのまま。でも福祉の手当のお陰で余

裕もできました。

切迫している方、ご連絡下さい。

■勇気と元気を分けて下さい

(36歳・栃木)

2年前に別居、10歳と8歳の娘2人と生活しています。別居の原因はいろいろありますが、夫の本当の姿を見抜くことのできなかつた私の甘さにあるのだと思います。

今では人間不信から、仕事以外家の外に出ていくことができず、人と話すことも苦痛な毎日です。このままではいけないと思っています。どうか私に勇気と元気を分けて下さい。近郊で話し合い、集まり等ありましたらご連絡下さい。

■近くの方お便り下さい

M・N(?歳・静岡)

離婚を考え始めた頃円さんの本を読み、離婚と同時期に入会して1年、会報を楽しみにしています。静岡には世話係がいないので、せめて神奈川でもと思うのですが、三島市は、まだまだ離婚や働く

母親に対して厳しい雰囲気土地柄です。一人娘と実家の世話になりながら生活しています。保母をしていますが、午後だけと土曜日だけのパートを2か所です。今までの人生で一番の幸せを感じてこの1年過ごしてきました。

今は再婚のことなどで悩んでいます。お近くの方で仲間がいればと思っています。お便りだけでもやり取りできればと思いますので、宜しくお願いします。

※千100千代田区永田町2-1-11-738円より子事務所内向井宛にお便り下さい。転送します。

■情報交換しませんか

(?歳・愛知)

離婚して1年、下の子の保育園の送り迎えの都合でパートでしたが、ステップアップを目指し勉強中です。正社員への道程は本当に厳しく、離婚時が最低の時なんて思ったのは甘いと分かりました。

実家に住めたこと、両親(76歳と70歳)が元気なこと、娘(8歳と5歳)2人となんとかやってこられました。会報を読み、皆さんにも励まされ助けられました。仕事のステップアップを図っている方、情報交換しませんか。お

近くの方、一緒にデイキャンプでも楽しみましょう。お願いします。

# ■花の好きな方出かけませんか

(48歳・東京)

離婚して14年半、大学生の息子と2人暮らしです。子離れのすんだ方、休日はどうお過ごしですか。私は花が好きなのと、健康のため、庭園に花を見に出かけています。

今年には旧古河庭園のつじ、浜離宮のぼたん、水元公園の花菖蒲、白山神社の紫陽花、少し足を伸ばして南房総の水仙、熱海の梅等を楽しみました。花の発する気が人の気を補い、心と体を癒してくれる(花の気療法)のだそうです。つじは気管支炎に、ぼたんは生理不順に、紫陽花は心身の疲労に効くそうです。花と歩くことの好きな方、一緒に出かけませんか。

# ■再婚した娘の母親が気がかり

(?歳・東京)

元妻のもとで暮らしている娘が先日、9歳の誕生日を迎えました。

私はプレゼントにバースデーカードを添えて送りました。これまでは受け取ったことを知らせる電話がありました。今回はありません。毎月の養育費の送金は郵便振替で行い、通信欄にメッセージを書いておくので、養育費を「お手紙」と呼ぶようになっていますが、「お手紙」の受取りについてもその都度くれた電話が今月はない。

元妻は昨夏再婚し、娘には弟ができました。元夫としては離婚の棘がまた一つ溶解したようで素直に喜べることでした。ところが先日娘たちと会食した折り、元妻は驚くほどたくさん料理を注文しました。こういう時彼女はストレスを抱えていることが多く、その後、私の留守電に彼女と夫とのいさかいの実況が入っていました。意図的に行われたのに違いありませんが、どう受け止めたら良いのか分からずにいます。

彼女は口論の時、男友達やつきあっていた男性との比較で相手を非難します。今の夫とのいさかいに私が引き合いに出されたことがあるかもしれない。彼にとって、前の夫は決して好感の持てるものではないだろう。また、娘の普段の

パパである彼への負い目が私にはあり、彼の遠慮からこちらからは電話を入れない。

私が心配する筋合いではないかもしれないが、渦中にある娘が心配で仕方がない。刺激したくないものの、当たり障りなく「お手紙」で伝えること位はいいのではないか。あるいは積極的に連絡を求める方が良いのか。思い悩んでいます。養育費の再婚と別居親の面接交渉との微妙な接配について、ご意見を伺いたいものです。

※169号「お便り下さい」のA・Mさんの本文中「彼は中国人」は「外国人」の誤りでした。

# 世話係から

# ■大分の世話係が変わります

(30歳・大分)

大分の世話係が変わります。元気ハツラツで、やる気満々です。よろしく願います。

# ■事務局便り

★人の話を共感をもって聞くこと、人に理解してもらえようと話すこと。どちらも今の仕事に必須のことです。その基礎となっているのが、離婚110番の相談員養成のためのカウンセリング講座でした。(星野)

★佐賀に帰省、炎の博覧会、有田焼、伊万里焼の見物。ふと佐賀県は全国でただ一つハンドの会員が「0」なのを思い出す。川の流れや木々の緑に英気を養われ夏休みは終了!(小本)

★8月は2度も国立婦人教育会館へ。成人女性の国立の教育施設に幼児以外子ども同伴不可とはどういうこと?(向井)

# ★パート募集!

▼職種①一般事務②データ入力  
▼資格①ワープロ必須②ワープロ、表計算ソフト経験者▼勤務時間①9時半～17時半、週3、5日、応相談▼勤務地①千代田区▼時給①800～1200円②1000円▼連絡先①「日本総合技術研究所」岩崎まで電話連絡後、履歴書持参のこと。  
☎03-3326218955



# 第183・184回 ニコニコ離婚講座

〔9月〕9月1日(日)午後1時～4時半。飯田橋セントラルプラザ6階(JR飯田橋駅下車隣)で。金住典子弁護士による「離婚の法律と手続き」と円より子氏の「ダイアナ妃の離婚と日本女性の離婚」〔10月〕10月13日(日)9月と同じ時間、セントラルプラザ5階。いずれも参加費2000円。申込は留守電か事務所へご連絡を。  
☎03(5512)2738(事)  
☎03(3261)1835(留)  
★東京の会合  
▼9月21日(土)午後6時～9時、東京ウイメンズプラザ(青山こども城裏)第3会議室で開催。  
▼10月26日(土)9月と同じ時間、同じ時間で開催。

## 大阪のニコニコ離婚講座

〔9月〕9月21日(土)午後1時半

### 《お世話係》

★仙台  
★福島  
★北陸  
★埼玉  
★群馬  
★愛知  
★滋賀  
★大阪  
★大阪  
★神戸  
★岡山  
★広島  
★広島  
★香川  
★四国  
★福岡  
★福岡  
★長崎  
★熊本  
★大分  
★宮崎

4時半、ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)で。円より子氏による「離婚をとりまく女性の現状」。  
〔10月〕10月19日(土)9月と同じ時間同じ場所。竹川幸子弁護士による「離婚に関する法律」。  
いずれも参加費1500円。

### ★大阪の例会

9月28日(土)午後1時半～4時半。竹川法律事務所。温井賢子氏と佐々木りほ子氏を囲んで「北欧の福祉と介護の実情について」。  
☎06-393-1331

### ★大阪フリーマーケットのお知らせ

9月22日(日)午前9時～午後3時、

大阪城公園太陽の広場にて行います。不用品等ご協力お願いします。詳細は

までお問い合わせ下さい。

11月にもドーンセンターでバザーを行う予定です。詳細は次号で。

### ★埼玉の会合

▼9月7、8日(土日)に1泊で大洋村(茨城県)へ行きませんか。鹿島灘にて都会の喧騒から離れ、のんびりと行く夏を過ごしませんか。定員4名。会費3000円。

▼10月31日(木)午後6時半、

宅でハンド170号発送。都合のつく方お手伝いお願いします。いずれも詳細は まで。

### ☆離婚一〇番

今年から、電話相談の日程が変わりました。日時番号はよく確認。(電話番号)

☎03(3261)1835  
☎03(3261)1836

### 〔日時〕

▼第1、第3、第5土曜日の午後5時～8時▼第2、第4土曜日の午後2時～5時

### ★購読料について

現在つぎの3通りの方法をとらせていただいています。

①1年間3600円(送料共)

②2年間まとめて前払いしてくださる方には、2年分、7200円のところを6000円に。

③出世払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。それぞれ出費が多く大変でしょうが、期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

(振込先)各地の郵便局にて

00140161120542

ハンド・イン・ハンドの会